

桐朋学園大学音楽学部附属
子供のための音楽教室

仙川教室案内



TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC
The Music School for Children



Introduction —ご挨拶—

新しい音楽の仲間に



仙川教室長

清水 和音

僕が幼稚園から通った目白教室は板張りで、教会のようなところだった。特別な場所に行く感じがいつもあった。おなじことを目指す同世代の友だちと出会い、音楽家のファミリーにいると感じた。自分は音楽家だ、という感覚が意識せずとも身体に滲みつく。あれから50年以上経っても、そこでできた大切な仲間はずっと、僕が音楽家として生きていく上での宝物だ。

これからの仙川教室(僕も小学生から通った)では、子どもたちがもっと音楽が好きになり、自然と音楽が身につく工夫をしていきたい。バッハ・ファミリーのような雰囲気になったら最高だ。音楽の仲間へようこそ。

Contents —目次—

3 教室長あいさつ	14 各種イベント
4 はじまりは音楽教室	16 服部百音さん 私の桐朋学園仙川教室
6 実技レッスン	18 音教生に聞きました
8 アンサンブル授業	21 入室手続き
10 ソルフェージュ授業	22 年間スケジュール
12 選択科目	23 アクセス・全国の音楽教室・お問い合わせ
13 入室Q&A	

はじめは音楽教室

「子供のための音楽教室」が誕生したのは1948年。

今でこそ桐朋の名は世界で知られるようになりましたが、その原点は音楽教室でした。

やがて子供たちの成長に合わせて高校が作られ、続いて大学が開設されました。

創立以来の“一人ひとりの可能性を引き出し丁寧に育てる”という理念は今も受け継がれ、

多くの音楽家を世界に送り出しています。



Lesson

実技レッスン

1対1の個人レッスン形式で
希望の専攻楽器を学びます

実技・ソルフェージュ・
アンサンブルを学び、
幅広い音楽力を育みます

ソルフェージュ

音楽を自由に表現するため、
聴音・視唱・楽典などを学び、
総合的に音楽の基礎を
身につけます

Solfège

アンサンブル

オーケストラ・合唱・
室内楽などを通して、
仲間と音楽を
創ることを学びます

Ensemble



Lesson 実技レッスン

確かな基礎の上に、
個性豊かな表現を育む

専攻科目

ピアノ・弦楽器・管楽器・打楽器・
ハーブ・声楽・作曲・その他から選択します。

1対1の個人レッスンです。各種試験、
校内演奏会、校外演奏会などを目標に
して勉強することができます。高校・
大学の教授陣や外国人教師による特
別レッスンを受ける機会もあります。

年少～年中

任意で実技を
開始することができます。



年長～小2

ソルフェージュとともに、
実技も必修です。



小3 以上

本科・ソルフェージュ科を
選ぶことができます。



ピアノ主任
新井博江



同じ環境下の仲間と切磋琢磨を

音楽は、時を超えて熟成してきた、人
間の魂の豊かさを表現する世界です。
この人間形成の礎になるのが桐朋学園
子供のための音楽教室です。木の温も
りの校舎と宗次ホールの大屋根の
下、高校・大学・大学院との一体感を常に

感じながら、実技とソルフェージュに加え、
盛り沢山の音楽家としての基礎を学ぶ
事ができます。上級生と共に木の香りの
コンサート等で演奏する機会もあります。
好奇心と想像力に溢れた子供達の成長
に寄り添い、全力でサポートして参ります。

弦楽器主任
神谷美千子



想像力溢れる子供たちの成長に寄り添う

弦楽器は、自分自身で音程を取り、
美しい音を作り、表現します。10代で
ほぼ技術が完成されるといわれている
弦楽器は、初めの教育が非常に重要
です。桐朋学園の音楽教室では、心
も体も柔軟な子供の時期に、ベテラン

の講師陣から生徒さんの個性を生かし
た個人レッスンを受けられるほか、同
じ環境にいる仲間と共に切磋琢磨しな
がら成長できます。音楽を通じて心を
豊かにし、演奏の楽しさを知っていた
だければと思います。

管楽器主任
亀井良信



音楽の基礎を身につけ個々の学びにつなげる

管楽器は始めるのがピアノや弦楽器
に比べ遅い傾向にあります。私自身、
クラリネットを始めたのは9歳。それ
まで習っていたヴァイオリンをやめる際、
父がクラリネット奏者で楽器ケースの
中に小さなドライバーが入っているの

がうらやましく選びました。楽器を初
めて手にした時、学ぶ環境が非常に重
要です。桐朋のソルフェージュ教育と
合わせて学ぶ事で音楽の基礎能力を
つけつつ、その人に合った管楽器との
出会いを提供いたします。

声楽主任
谷茂樹



音楽に対する豊かな感性を育む

声楽はまずは正しい腹式呼吸、発
声、発音による声楽の基本を学びま
す。歌詞をよく読んで詩から心に感じる
喜怒哀楽を表出し、心を開放して感性
豊かに歌っていただきます。身体全体
を使いますので血液循環がよくなり、ま

た感情表現しますので健康に繋がりを
元気な身体になります。さらに声楽副科
はご自分の専攻の楽器に大いに役立ち
ます。「このフレーズはもっと歌うよう」
等、先生からの指導が必ずあります。
歌を歌えばさらによく理解できます。

作曲主任
石島正博



自由な楽想を育み、音を形にする喜びを

砂浜で貝殻を探るように、好きな音
を探し、その貝殻で眼を閉じて耳をふ
さぐと海鳴りが聴こえてくるのはなぜ
か、を考えてみる。音楽をつくること
は、まだ自分では気づいていないかけ
がえのない私を発見すること。仲間た

ちとともに、もっと感じ、もっと考え、もっ
と楽しむ、ワクワクするそんな時間を一
緒に楽しむ。それがわたしたち作曲ス
タッフの願いです。

さあ、みんな！音楽は楽しむもの。
きみだけの音の貝殻、さがしにゆこう！

Ensemble

アンサンブル授業

仲間と一緒に音楽を
作り上げていく喜びを



佐々木 歩
弦楽オーケストラ主任

幼少期からアンサンブルの勉強にも力を入れている桐朋の教育は大変素晴らしく誇りに思います。留学当初、唯一自信を持って参加できたのがオーケストラや室内楽授業でした。桐朋で合奏教育を受けてきたおかげで言葉ができなくてもすぐに仲間と打ち解け、心から音楽を楽しむことができました。アンサンブル授業を通じて仲間と一緒に音楽を作り上げていく喜びを経験し、しっかりした社会性を身につけて欲しいと願っています。

対象：小3以上の本科の弦楽器専攻生、オーディションに合格したソルフェージュ科の弦楽器専攻生も受講できます。

弦楽オーケストラ



田中 奏子
合唱

歌は、身体が楽器です。その楽器を使ってアンサンブルをする事で、ハーモニーの耳を育てます。

また、歌詞に心を寄せ、表現を楽しむ事ができます。口を大きく開け、息をたくさん吸い、自分という楽器を使って大いにコーラスを楽しみましょう。

対象：小3以上のピアノ専攻生など、弦楽器専攻以外の生徒。ソルフェージュ科の生徒も受講できます。

合唱

Ensemble

ピアノ室内楽



松谷 園子
ピアノ室内楽

ピアノは他の楽器に比べて、一人で演奏する機会が多い楽器です。室内楽クラスでは、一人では経験できない連弾、2台ピアノ、弦楽器や管楽器との合奏を通して他者との対話を楽しみながら、音をよく聴

き息を合わせて音楽を立体的に創ることを学びます。

対象：小5以上のピアノ専攻生が、実技担当講師の推薦により受講できます。

Solfege

ソルフェージュ授業

音楽の無限の魅力を
自分で探究する力を育てる

未就学児は、歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりしながら、楽しく音楽体験を積み重ねていきます。小学生になると、楽譜を書いたり、音楽理論を学んだり様々なアプローチで力をつけていきます。集団でしかできない経験を通して楽しみながら楽譜や楽曲の理解を深めていきます。



鷹羽 弘晃
ソルフェージュ主任

ソルフェージュは、音が織りなす美しさや心地よさに触れ、その時の感動を、ひとりひとりの音楽表現に活かすことが目的です。これは偉大な音楽家たちも通った道です。この道を、西洋音楽を熟知した先生と共に歩むこと

で、音を聴くことや楽譜を読むことなどの感覚を育てていきます。このソルフェージュの力が身に付けば、一生涯、音楽の無限の魅力を自分で紡ぐことができます。さあ、多くの仲間たちと一緒に学びましょう。



仙川教室ソルフェージュ教育体系



選択科目

仙川教室では多彩な選択科目の履修が可能です。



対象:小3以上

管楽器 グループレッスン 副科管楽器(個人)

フルートやクラリネット、その他の管楽器を、グループレッスンまたは個人レッスンの形で学ぶことができます。息を使って音楽を作ることの大切さを学びます。



対象:小3以上

副科声楽

“歌う”ことは楽器演奏にも欠かせない音楽の基本です。フレーズを音楽的に歌い上げる歌唱法、体の発達に伴ったブレスや発声法を学びます。



小5以上(個人レッスンは履修2年以上)

副科作曲 (グループレッスン・個人)

「自分の中にある音に気づき、外に出してみよう」というところからスタートします。和声進行や曲の構成などへの興味は、説得力のある実技演奏にもつながっていきます。



対象:小1以上

キーボードソルフェージュ(KBS)

ピアノは一人で多旋律や和声を奏でるという特徴があります。旋律楽器専攻生がピアノに触れることによって、ハーモニー感や多くの音を多彩に聴く力を育てることを目的としています。



対象:小5以上のピアノ専攻生

ピアノ初見

さまざまな時代やスタイルの短い曲を初見で弾くことで、譜読みのコツを習得し、音色や表情など自分の持ち味を最大限に発揮できる様にするのが目的です。

入室Q&A

Q 実際の授業の様子を見学することはできますか？

A 入室試験の前の時期に、見学や説明会を行なっております。見学できるのは、弦楽オーケストラ・合唱・ソルフェージュの授業です。未就学児の方はソルフェージュは見学ではなく、体験授業に参加していただけます。実技の個人レッスンの見学は行なっておりません。

Q おとなしい性格の子供なのでソルフェージュの集団授業や実技レッスンに馴染めるか心配です。

A ソルフェージュはクラス授業ですが、それぞれの得意不得意に留意し、楽しみながら学ぶことを大切にしています。実技は1対1で丁寧に指導いたします。どちらも指導経験豊富な講師がお子様の個性を把握して指導いたしますのでご安心ください。

Q 入室はいつでもできるのですか？

A 例年の入室試験は2月末と7月中旬に行っています。又10月中旬に、追加募集試験を行うことがあります。(試験の内容については21ページ入室手続きについてをご覧ください。)この時期以外でも、プレクラスと年少から年長の方はクラスに空きがある場合は受け付けておりますのでホームページでご確認ください。中学生以上の音高・音大受験ご希望の方は随時入室を受け付けております。

Q 音楽を好きになって欲しいので、良い音楽教育を受けさせたいのですが、仙川教室は専門家を目指す方が多い教室でしょうか？

A 演奏家や音楽家を目指している生徒さんもちろんいらっしゃいますが、音楽をもっと楽しめるようになりたいと考えて学んでいる方もたくさんいらっしゃいます。音楽を学ぶことは、豊かな心と創造力を育み、子供達の様々な可能性を広げます。

Q ヴァイオリンを習っている小学3年生です。ソルフェージュの経験がありませんが、入室試験を受けるには準備が必要ですか？

A ソルフェージュが未習であっても、ヴァイオリンの学習を通して身につけている読譜力や聴く力をみて、適切なクラスにご案内しますので、今のままで試験を受けていただいて構いません。

Q どの楽器を、いつから始めたらいいのか迷っています。

A 基本的には、楽器や始める時期は、ご家庭でお考えいただけますが、講師はいつでもご相談に応じます。また毎年ピアノと弦楽器の「デモンストラーション」があり、それぞれの楽器を紹介する機会を設けておりますので参考になさってください。

各種イベント

桐朋学園子供のための音楽教室では、様々なイベントがあります。

校外でソロやオーケストラ、合唱を披露したり、日頃のレッスンの成果を試す場があります。また仙川教室は、大学・高校と同じ校舎で学んでいるため交流が多く、いろいろな楽器の学生の演奏を聴くことができます。



ピアノマスタークラス ヴァイオリンセミナー

この2つのイベントは、大学の教授陣からレッスンを受けることができる貴重な機会です。2日間の講習会の最終日には、成果発表のコンサートもあります。



ロビーコンサート

大高に通う音教の先輩たちの、熱い気持ちのこもった演奏会です。学生ホールに音楽が満ちあふれる、大人気の企画です。



校内演奏会・校外演奏会

校内演奏会は小1以上の本科生、校外演奏会はオーディション合格者によるコンサート。ソロ演奏の他、オーケストラや合唱の発表もあります。

桐朋学園全国ジュニア 音楽コンクール

音楽教室主催の全国規模のコンクール。ピアノ、ヴァイオリン部門があり、音教生以外も参加することができます。



実技デモンストレーション

まだ楽器を始めていない年少・年中児向けのイベント。小学生のデモ演奏他、楽器紹介、楽器体験コーナーもある充実の内容です。



打楽器コンサート

毎年大好評、桐朋学園大学の打楽器科学生による打楽器だけの無料コンサートです。



卒業演奏会

全国の音楽教室の中学3年生の中から選ばれた生徒による演奏会です。



Event



大高オーケストラ 見学・鑑賞会

ソルフェージュ授業の一環として、大高のオーケストラ授業の見学や、様々な楽器の学生の演奏を鑑賞する機会があります。

私の桐朋学園仙川教室

服部百音さん

Graduate Interview



幼少の頃から数々の国際コンクールで受賞し、世界中で演奏活動を続けている服部百音さん。仙川教室の卒室生でもある服部さんに音楽教室時代の思い出、音楽に取り組む皆さんへのメッセージ、音楽を楽しむことの魅力について語っていただきました。

Moné Hattori

8歳でオーケストラと共演。10歳以降様々な国際コンクールで優勝やグランプリを受賞。11歳でミラノでのリサイタルを皮切りにウラディミール・アシュケナージとスイスイタリア公演、ハチャトゥリアン音楽祭、マリンスキー劇場などで演奏。2021年NHK交響楽団、バーヴォ・ヤルヴィと共演、翌年ドイツ・カンマーフィルと共演し大好評を博す。2022年から自身の企画コンサート「STORIA」を展開し日本での演奏機会に恵まれない名曲の普及にも意欲的に取り組んでいる。

2007年●桐朋学園大学音楽学部附属 子供のための音楽教室 仙川教室入室

2009年●リピンスキ・ヴィエニャフスキー国際コンクール第1位。全日本音楽コンクール第1位

2013年●ヤング・ヴィルトゥオーゾ国際音楽コンクールでグランプリ、ノヴォシビルスク国際ヴァイオリンコンクールシニア部門に飛び級エントリーで史上最年少グランプリを受賞。

2018年●アリオン桐朋音楽賞、服部真二音楽賞、2020年ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞を受賞

使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与のガルネリ・デルジェス。桐朋学園大学大学院を修了。

音楽の面白さ楽しさを 幼馴染みと分かち合った空間

— 服部百音さんにとって桐朋の音楽教室で学んだことは何でしたでしょうか。

めちゃめちゃ面白くて週一回の癒しの場・音遊びの空間でした。私は幼稚園の年中から中学3年生まで通っていて、ソルフェージュや弦楽オーケストラを学んでいました。また中学に入ると副科の作曲も学びました。ソルフェージュクラスの同期・同世代の友達が幼馴染みのような感じで、皆で輪になってリズムを手拍子するところからスタートして次第に聴音になっていくのですが、これが本当に楽しかったです。

作曲の発表会のために同じソルフェージュクラスの三人の仲間たちと提出する作品の弾き合いをしたのも楽しかった思い出です。

仙川教室で学んだことで自然に ヴァイオリニストの道にすすむことに

— 小さい頃からヴァイオリニストになろうと思っていたのでしょうか。

3歳からバレエをやっていたので最初はバレリーナになりたいと思っていました。ヴァイオリンを始めたのは5歳でバレエよりあとでした。でも体が硬くて前屈が出来なかったのと、バレエに通う日が多くなるとヴァイオリンの練習が出来なくなるので、次第にヴァイオリンに集中するようになりました。音楽というよりヴァイオリンが面白いなと思ってやっていたのですが、振り返る

と仙川教室で音楽のこと・音のことについて沢山知ることが出来て音楽の世界の虜になったことで自然にヴァイオリニストの道に進んだという感じですね。

音楽について一緒に悩み 一緒に楽しめた掛け替えのない仲間

— 音楽教室で一緒に学んだ仲間はどういう思いを持っていらっしゃいますか。

音教時代を共にした仲間というのは、本当に特別で掛け替えのない人たちです。10年くらい一緒にいて、授業中も難しい聴音やハ音記号の譜面の歌唱に難儀したり色んなことを一緒に悩んだり相談したりして、自然にコミュニティが出来上がっていきました。今でも一堂に会した時にはあの時の記憶が蘇ってきます。損得無しで一緒に音楽を楽しめた仲間だと思っています。

素直な感覚を守りながら 音楽を楽しみ届けてほしい

— 仙川教室の後輩に大事にしてほしいものは何でしょうか。

知識が増えることは素晴らしいことですが、音楽に対して自分がどう感じるかという素直な感覚を守りながら楽しみ、先生がおっしゃることや色んな知識や情報を、上手く自分なりに生かした音楽を届けることが一番大事だと思います。仙川教室はとても素晴らしい恵まれた環境なので、みんなで弾き合いっこして遊んだりしながら、音楽を楽しみたいものだと思います。

音楽って本当に面白いと思うから やり遂げられる

— 学校の友達と遊ぶ時間を練習に費やすことには抵抗はなかったのでしょうか。また練習や授業が嫌だなど思ったときに、どうやってそれを乗り越えたのでしょうか。

純粹に音楽のことだけを考えてそれを感じる時間の過ごし方というのは、あんまり辛いものではなく自分にとってはむしろ楽しく面白いものだと思っていました。でも私もコンクールに出るようになってから失敗が許されなかったり結果を出さないとダメと言われてたりして楽しめなくなったことがありました。だけど、音楽がどれだけ面白く自由なものかを思う存分感じて遊びきることが出来るとやり遂げられると思います。一番大事な根本のところの価値観っていうのを仙川教室時代に植え付けていただいたことが宝物となっていますし、桐朋にいる限り必ず皆さんが享受できることだと思います。こんなに恵まれた環境はないのではないかと本当に思っています。

#01

音楽は人生を豊かにしてくれる ——その環境を求めて



いとう はなえ
伊藤 花江さん
小1・ピアノ

いとう ゆき
伊藤 有希さん
年中 とう両親

■音楽教室に通われるきっかけは？

私は10代の頃からギターやピアノを弾いたり、コンサートに行ったりしました。ヨーロッパでは音楽が大切な生活の一部になっていて、それらは人生をとても豊かにしてくれたと感じていますので、子供たちにも同じような機会を与えたいと思いました。(イタリア出身のお父様より)

■実際に桐朋に通われて、印象はいかがでしたか？

他の音楽教室と比べて、専門性の高さを感じました。校舎に常に大学生、高校生の楽器の音が鳴っていて、授業にも演奏に来てくれたりロビーコンサートが聴けたり、音にあふれた環境に魅力を感じます。また先生方は演奏家が多いので、子供たちが小さなうちから本格的なコンサートに行く機会に恵まれていると感じています。

■ご家庭での様子を教えてください

姉は恥ずかしがり屋で授業であまり積極的ではないかもしれませんが、最近リズム感がついてきたように思いま

す。また、ピアノでは難しい曲に挑戦してそれをやり遂げる過程があるので楽しいです。また姉が妹に知っていることを教えたり、妹が授業で習った歌を姉も以前に習っていたりするので、姉妹一緒に歌っています。私(お母様)も数年前にピアノを習い始め、家ではピアノやギター、歌ったり踊ったりとみんなで音楽を奏でています。先日の発表会では父娘・母娘でピアノ連弾もしました。またいろいろな場所に出かけるたびに、その地方の楽器を買い集めています。

■将来については？

将来はどうか分かりませんが、「音楽が普通なこと」となる環境を与えたいと思っています。また音楽を学ぶことは科学や数学の概念を想像し、理解することに役立つと考えていますので、娘たちがどの道に進むにしても、これからも音楽に触れられる機会を作っていきたいです。

#02

ピアノの「優しい音」が とても好きです



やまだ たく
山田 大木さん
小6・ピアノ

■ピアノを始めたきっかけは？

家にあったおもちゃのピアノで遊ぶのが大好きで、自分から習いたいと言ったらいいです。先生はやさしくて「自分の“弾きたい”を信じて」と言ってくれるので、練習する時に自分でよく考えています。そうやって曲を作っていくことが楽しいです。

■音教はどんなところ？

音楽の話のできる陽気な友達のいるところ。ソルフェージュの授業は、小さい時はみんなで歌ったり動いたりしていたら自然にリズムのことや音符のことを覚えていった…という感じでした。小学生になって「座って勉強する」ことが多くなった時大丈夫かなと思ったけれど、小さい時に覚えたことつながっていることがわかって心配がなくなりました。今は密集の四声体が難しいけれど、できた時は達成感があります。

■これからの夢は？

“かていん”のように、色々な曲を弾いたり作曲したりしてYouTubeにあげたいですし、コンサートもしたいです。

■ヴァイオリンの好きなのところは？

ヴァイオリンは、自分で音程を作れるところが楽しいし、響きが好きです。自分で作った曲を妹とヴァイオリンで弾いて楽しんだりしたこともあります。本番は緊張するけれども、それ以上に舞台上立つことが嬉しいので、リラックスして臨むように工夫しています。

■音教はどんなところ？

音楽教室の友達とは週に一度しか会わないけれど、学校の友達のように気軽に話しています。ソルフェージュの授業は活気があって、みんなと歌う時が楽しいです。オーケストラの授業も楽しいです。普段は一人で練習して一つの音楽を作るけれども、みんなで一つの音楽を作り上げていくことができるのが魅力です。

■好きな音楽家や夢は？

小さい頃からパウルマンが好きで、五嶋みどりさんやいろいろな演奏を聴いています。将来は、ヴァイオリニストにもなりたいけれど、ヴァイオリンの先生にも興味があります。ヴァイオリンに関わるいろんな仕事をしてみたいです。



よねい きあや
米井 咲純さん
中3・ヴァイオリン

仲間と音楽を作り上げていく
楽しさ、そこが魅力です

#03

卒室生に聞きました



荒川 桐真さん

桐朋学園音楽学部
ソリスト・ディプロマ・コース1年生・
ヴァイオリン

加藤 皓介さん

桐朋学園大学1年生・ピアノ

相原 一誠さん

桐朋学園大学1年生・チェロ

■音教で楽しかったことや 印象に残っていることは？

荒川 | ソルフェージュの授業での木魚を使ったリズムアンサンブルが楽しかったです。またオーケストラは毎年ホールの本番があり、それまでの努力だけでなく本番の中でもどんどん成長している感覚があって印象的でした。
相原 | 結婚行進曲の書き取りをしたことが印象に残っています。今でもこの曲を聴くたびに「難しくて、みんな意外とできなかったな」と思い出します。小3からのオーケストラ授業も楽しかったです。
加藤 | 1人1小節担当して皆で曲を作ったこと。さかのぼれば、みんなで手をつないで歌ったり踊ったりしたことも貴重で、その頃からずっと楽しかったです！また室内楽の授業で他の楽器と一緒に弾く経験を早くからできたので、現在もその時からの身体に染みついた経験が活きていると感じます。

■音教から桐朋へ進学したきっかけは？

荒川 | 中2の頃別の道を考えた時期もありましたが、中3になってやっぱり音楽が好きだと思って桐朋へ進むことを決めました。
相原 | 他のことに興味が湧くことももちろんありましたが、音楽を聴くと感動するし好きだなと感じるので、この道に決めました。
加藤 | 周りの仲間も桐朋に進むため、自然と

桐朋に行きたいと思うようになりました。またこのトリオは高校1年生から組んでいます。音教生の頃から3人で「トリオをやりたいね」と話していました。

■今後の夢などは？

荒川 | 留学して、ドイツのオーケストラに入りたいです。ミュンヘンフィルの団員に習ったこともあり、昔から音楽と言えばドイツ!という憧れがあります。
相原 | 今はまだ明確な夢はありませんが、クラシックに限らず色々な音楽に関わる仕事がしたいです。
加藤 | ピアノだけでなく、指揮や歌など色々なことに興味があります。いつかは自分でオーケストラを組んで指揮を振って、自分も演奏したいです。



やっぱり音楽が好き 仲間と共に歩む音楽の道

#04

入室手続きについて

Aコース・Bコース

入室時期について

※詳細な日程は決まり次第ホームページでお知らせします。
※中学生以上で音楽高校・音楽大学受験希望の方は随時お申し込みいただけます。

	説明会など*2	入室試験	入室月
4月生募集	1・2月予定	3月予定	4月予定
9月生募集	6月予定	7月予定	9月予定
追加*1募集	9月予定	10月予定	11月予定

*1 追加募集は、空きがある場合のみ
*2 無料体験・授業見学も予定しております

入室試験について

年長児以上の方は、入室試験の結果でコース(A・B)が決まります。

- 年少児～年長児
 - a. 適性審査(年中・年長児のみ) b. 保護者同伴の面接
- 小学1年生～高校生
 - a. 実技試験
(ピアノ、弦楽器、管楽器、打楽器、ハーブ、声楽、作曲、その他)
※伴奏付の曲目の場合は原則伴奏を付けてください。
課題は仙川教室HPに掲載の生徒募集要項をご確認ください。
※小1～小2で楽器未習の方は志願時にご相談ください。
 - b. ソルフェージュ試験 / c. 保護者同伴の面接
- ソルフェージュ科(小学3年生～高校生)
 - a. ソルフェージュ試験 b. 保護者同伴の面接
c. 参考演奏(曲目自由、伴奏不要)

入室検定料・入室料

項目/学年	年少	年中・年長	小・中学生	ソルフェージュ科	ソルフェージュ科 弦合奏参加希望者	納入時期
入室検定料	3,300	5,500	11,000	5,500	11,000	入室試験当日
入室料	11,000	11,000	22,000	22,000	22,000	入室手続き時

申込方法

仙川教室HPに掲載のWeb志願票よりお申し込みください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S21988216/>

※入室相談、実力診断は随時受け付けております。お問い合わせください。
※仙川教室では入室試験時に20歳未満の方を対象としています。



プレクラス

入室時期について

※年少前のお子様を対象です。
※プレクラスの受講にあたって試験はありません。
※クラスに空きがあれば、途中入室可能です。
定員になり次第締め切ります。詳しくはお問い合わせください。

体験授業	お申し込み時期	受講開始
3月予定	3・4月	4月

申込方法

仙川教室HPに掲載のWeb志願票よりお申し込みください。
<https://ws.formzu.net/dist/S24401654/>



仙川教室の年間スケジュール

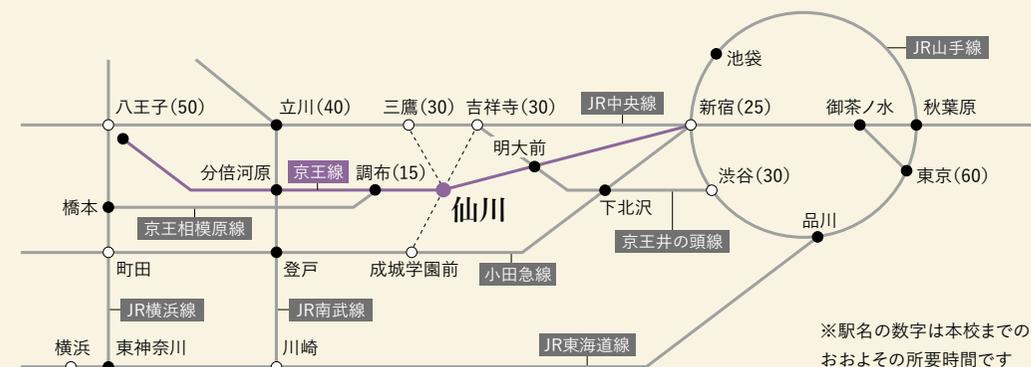
※例年は以下のような行事の流れとなっていますが、年によって多少の変動の可能性もあります。

生徒募集関連	在室生行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> • 新年度開講
5月	<ul style="list-style-type: none"> • 公開演奏試験(小4～中2) • 中3卒業試験
6月	<ul style="list-style-type: none"> • 無料体験授業見学説明会 • 実技試験(小1～中2・高校生)
7月	<ul style="list-style-type: none"> • 入室試験(9月入室生) • 楽器未習年少・年中生対象 ピアノデモンストレーション • 管楽器グループレッスン発表会 • 中3卒業演奏会
8月	<ul style="list-style-type: none"> • 夏休み
9月	—
10月	<ul style="list-style-type: none"> • 校内演奏会 • ピアノグレード試験 • 楽器未習年少・年中生対象 弦楽器デモンストレーション • 特待生・公開演奏会オーディション
11月	<ul style="list-style-type: none"> • 音教生のための高校授業見学会
12月	<ul style="list-style-type: none"> • 管楽器グループレッスン発表会 • 校外演奏会 • 金曜クラス オーケストラ見学会
1月	<ul style="list-style-type: none"> • 無料体験授業 • 授業見学 • 入室相談会 • 高校・大学入試実技模試
2月	<ul style="list-style-type: none"> • 無料体験授業 • 授業見学 • 入室説明会・相談会 • ピアノグレード試験 • 弦楽器スケール・エチュード試験
3月	<ul style="list-style-type: none"> • 入室試験(4月入室生) • 水曜クラス ミニ鑑賞会 • 打楽器コンサート • 中3修了式

アクセス

〒182-8510
調布市若葉町 1-41-1 桐朋学園大学内

- 京王線「仙川駅」より徒歩5分
- 小田急線「成城学園前駅」よりバス15分
- JR中央線「吉祥寺駅」よりバス25分
- JR中央線「三鷹駅」よりバス25分



全国の音楽教室

北海道

札幌教室

東北・北陸

仙台教室 新潟教室

富山教室

関東

水戸教室 太田教室

高崎教室 宇都宮教室

首都圏

仙川教室 目黒教室

小金井教室 八王子教室

お茶の水教室

相模原教室

鎌倉教室 横浜教室

市川教室 西千葉教室

大宮教室

東海・中部

長野教室 松本教室

諏訪教室 名古屋教室

富士教室

関西

京都教室 大阪教室

茨木教室

中国・四国

広島教室 高松教室

お問い合わせ・お申し込み〈音楽教室課〉

TEL 03-3307-3036 FAX 03-3307-4115

E-Mail onkyo-info@tohomusic.ac.jp

Webサイト <https://toho-child.jp/>

桐朋 音楽教室 検索





*The Music School
for Children*

